



# 學 穂

(ほがく)

令和7年度 広州日本人学校  
学校だより No.13  
令和8年2月27日  
発行責任者 校長 大久 耕

～ 2025年度 広州日本人学校は 開校30周年です ～

～ 感謝,そして次のステップへ ～



(中学部卒業制作：正面玄関ステンドグラス 「飲茶(左)とパンダ(右)」)

令和7年度も残すところ2週間となりました。2月7日(土)の授業参観・学級懇談には、多くの保護者・ご家族の皆さんに来校いただきました。子供たちが元気に活動する様子を見ていただけたことと思います。ありがとうございました。

## 中学部3年生 卒業制作

中学部3年生の卒業制作が完成しました。装飾と防犯の両面を兼ねられるように、昨年度の中央部に続いて、今年度は両脇の扉に生徒のデザインにより「飲茶」と「パンダ」が描かれました。

受験の合間を縫いながら、カラーフィルムをカットし、窓ガラスに丁寧に張り付けていく作業は、根気と集中力が必要です。また、デザインや色彩には、昨年度の作品とのバランスも求められます。

2月23日(月)に完成披露をしました。学校にお越しの際は、ぜひ1階の正面玄関にもご注目ください。

## 小学部1年生 校外学習「SEIKO」(2月5日)

2月5日(木)、1年生が広州精工技術有限公司(SEIKO)の工場見学に行ってきました。

初の校外学習、そして精密機械を扱う工場ということもあり、緊張気味でしたが、時計の仕組みや歴史を分かりやすく教えていただき、楽しい1日となりました。広州精工技術有限公司様、ありがとうございました。



## 小学部「小 6 を送る会」(2 月 11 日)



2 月 11 日(水), 小学部の「小 6 を送る会」が開催されました。

4 月の「小 1 を迎える会」では, 手を引いて入場した 1 年生に, 今度は手を引かれて少し照れ臭そうに入場する 6 年生。各学年から感謝の言葉とともに, 心のこもった歌や踊りが披露され, 自分たちの成長を振り返る機会にもなりました。

6 年生からはお返しのダンス。さすがの完成度とユーモアに小学部全員が温かく楽しいひと時を過ごすことができました。

## 中学部 1 年 小学部 6 年「中 1 と語る会」(2 月 13 日)

2 月 13 日(金), 中学部 1 年生主催による「中 1 と語る会」が開かれました。これは, 4 月から中学生となる小学部 6 年生に先輩として「中学部の心得」を伝えるものです。

内容は, 中学部の学習, 部活動, 行事など, 中学部での生活全体を網羅するものです。小学部 6 年生は, 6 か所設けられた会場をローテーションで回りながら, 話を聞いたり, 質問をしたりしました。



また, これに先立って 2 月 1 週目には, 中学部生徒の発案による「部活動体験」も開かれており, 二つの活動をとおして, 中学部の生活への理解を深めていました。

## 日産自動車様より本の寄贈がありました



第 41 回日産童話と絵本のグランプリにおいて, 絵本部門と童話部門のそれぞれにおいて大賞を受賞した作品が, 日産自動車様より寄贈されました。

童話大賞の「春風の魔法使い」は, 中国・西安から日本に来て学校生活を送る男の子と生活や言語, 文化の違いを理解してあげようとする女の子の温かな交流を桜の花とともに描いた作品です。中国で暮らす

本校の子供たちは, 日本の子たちとは違った共感を持ちながら読める作品ではないかと思います。

(童話とはいえ, 内容的には小学部高学年程度に感じます)

図書館に収蔵し, 大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。

## ～ 読み聞かせボランティアの皆様 ありがとうございました ～

2 月 12 日(木), 今年度最後の保護者ボランティアによる読み聞かせがありました。毎回, 子供たちは, 「今日はどんな本を読んでもらえるのだろう」と, ワクワクしながら読み聞かせの日を楽しみにしています。

自由に選ぶ中では手に取らない本に触れたり, 高学年児童が絵本の魅力に気づいたり, 読み聞かせには, 新たな本との出会いがあります。在外で暮らす子供たちにとって本との出会いはとても大切です。日常生活の中で, 自然に日本語に触れる機会が少ない子供たちは, 本の中ですてきな言葉と出会い, 自分の表現の幅を広げていきます。これからも, 読み聞かせの機会や読書活動を大切にしていきたいと思います。

読み聞かせボランティアの皆様, 今年度もどうもありがとうございました。